

『一般利用者向け高視認性安全服』の試験もボーケンで実施しています

2017年1月より、一般財団法人 日本交通安全教育普及協会(JATRAS)では、児童及び自転車通学者向け高視認性安全服の認証を開始しております。

2017年11月1日には、公益社団法人 日本保安用品協会(JSAA)が『一般利用者向け高視認性安全服規格 JSAA2001:2017』を制定しています。日本保安用品協会では、型式認定を行っております。

ボーケンは本型式認定制度における試験実施機関です。

また、本型式認定制度以外のJISやISO等の高視認性安全服の試験も行っています。

型式認定合格証明票(型式認定品タグ)



表(共通)



裏(レベルB)



裏(レベルC)



リスクレベルB

(例)



リスクレベルC

※「一般利用者向け高視認性安全服—型式認定申請のご案内—」(公益社団法人日本保安用品協会)より

リスクレベル	目安となる想定着用者の例
B(中リスク)	高リスクレベル以外の環境であって、車両、建機などの通行が比較的多い環境で働く作業員、未就学児童、義務教育就学者、高齢者、二輪車・自動二輪車等乗車者など
C(低リスク)	高・中リスクレベル以外の環境で働く作業員、道路などの一般利用者

※レベルAは、JIS T 8127の高リスクレベルに対応します。

型式認定申請の流れ

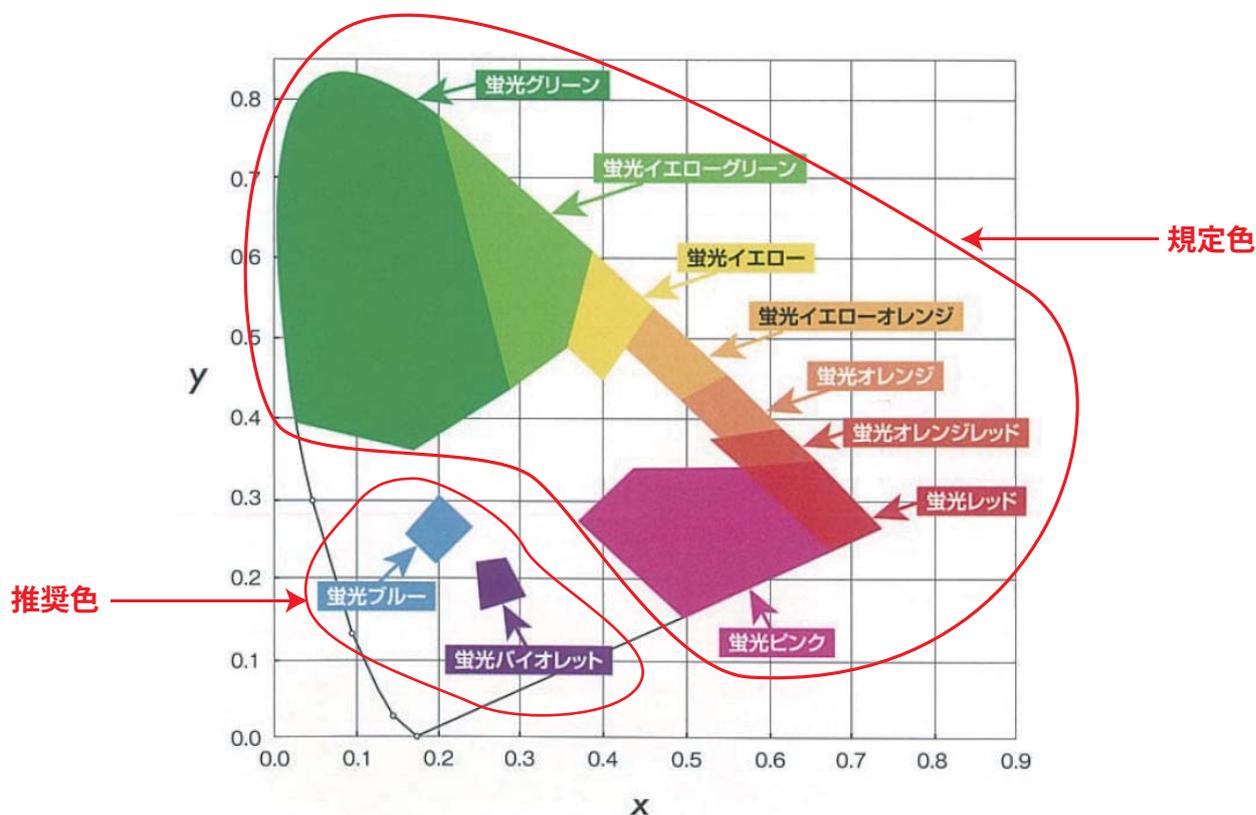


型式認定申請

公益社団法人 日本保安用品協会(JSAA)に「一般利用者向け高視認性安全服の型式認定申請書」、「試験報告書等」を提出。

規格の特徴

- ・リスクレベルに応じてレベルB又はレベルCの2つのレベルに分類。
- ・レベルごとに着用者の身長に応じ蛍光生地や再帰性反射材の使用面積が定められており、女性向けや児童向けの衣料サイズにも対応している。
- ・蛍光生地の色数は8色。(蛍光グリーン、蛍光イエロー、蛍光オレンジ、蛍光ピンクなど) (JISやISO規格(共に作業服向けの規格)は色数が3色)。(蛍光ブルー、蛍光バイオレットは参考とする推奨色であり、この規定には適合しない)
- ・再帰反射性能に対する要求事項は330 cd / (lx・m²)以上(観測角0.2°、入射角5°の条件)など。(JISやISO規格と同等)
- ・蛍光生地や再帰性反射材の使用に関しては、全ての方向の視認性(360°の視認性)を確保するように配置する。ただし、連続でなくてもかまわない。



蛍光生地の色数が8色に増え、パイピングやランダムなデザインの再帰性反射材の使用が認められているから、いろんなデザインができるケン!



Topic No.157「児童及び自転車通学者向け高視認性安全服の認証ラベル制度が開始されました」も一緒にご覧下さい。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

大阪事業所(担当:藤田・辻) TEL:06-6577-0124 / FAX:06-6577-0126

未来研究所(担当:勝間田) TEL:06-6577-0117 / FAX:06-6577-0122